

道教關係著書論文目錄

2021（令和3）年

横手 裕・孔 詩・脇山 豪 編

前 言

1. 本目錄には、2021年1月から12月までの期間に我國で刊行された、道教及びその周邊領域に関する著書・論文・書評等を収める。
2. 雑誌等に掲載された譯注類は「Ⅱ. 論文」に、學會報告等については「Ⅲ. 書評等」に、それぞれ収める。
3. 掲載順は執筆者姓の第一字の日本語漢字音順とする。執筆者名がアルファベット表記の場合は、Ⅰ・Ⅱ・Ⅲそれぞれにおいて漢字假名表記による執筆者を載せた後にアルファベット順に記す。複数名による執筆の場合は、第一執筆者に準據する。中國人名・韓國人名の場合も日本語音に統一する。
4. 連名による〔譯注〕等の場合は、第一執筆者の姓名の後にのみ〔譯注〕等と記す。
5. 本誌の過年號「目錄」で掲載されたことのある執筆者の場合は、對象領域が些か外れていても敢えて掲載する場合がある。
6. 十分に注意の下に作業を進めたつもりではあるが、誤脱も少なくないと思われる。お気づきの點をご教示頂ければ幸いである。

I. 單行本

赤澤 春彦 [編]	新陰陽道叢書 第二卷 中世 名著出版
伊藤 聰 [編]	神道資料の調査と研究 臨川書店
稻本 泰生 [編]	佛教と道家系の「見える」ものや「見えない」もの：國際ワークショップ參考資料集 京都大學人文科學研究所
上島 享 [編]	世界のなかの日本宗教 2 吉川弘文館
吉田 一彦	
梅田 千尋 [編]	新陰陽道叢書 第三卷 近世 名著出版
大形 徹	不老不死：仙人の誕生と神仙術 志學社
工藤 元男	睡虎地秦簡よりみた秦代の國家と社會 オンデマンド版 講談社

- 小池 淳一 [編] 新陰陽道叢書 第四卷 民俗・説話 名著出版
 小寺 敏子 [和訓] 和訓黃帝内經太素 和訓黃帝内經太素制作委員會
 酒井 シヅ [監修] 日本古醫書集：ハーバード大學公衆衛生大學院武見國際保健
 プログラム設立30周年記念 日本醫師會
- 向村 九音 創られた由緒：近世大和國諸社と在地神道家 勉誠出版
 重信あゆみ 西王母と女媧：二人の神 ピング・ネット・プレス
 清水 信子 加藤天淵關係資料目錄（稿） 二松學舎大學東アジア學術總
 川邊 雄大 合研究所日本漢學センター
 町 泉壽郎
- 田久和義隆 [譯] 全譯内經講義：中醫藥大學全國共通教材 たにぐち書店
 程 士徳 [主編]
 孟 景春 [副主編]
- 武田 時昌 [編] 術數學の射程：東アジア世界の「知」の傳統 臨川書店
 武田 時昌 [編] 天と地の科學：東と西の出会い 臨川書店
 武田 時昌 [編] 近世醫家新出史料集 第二冊（増補版） 京都大學人文科學
 永塚 憲治 研究所
- 中前 正志 寺院内外傳承差の原理：緣起通史の試みから 法藏館
 西平 直 養生の思想 春秋社
 西村 甲 隨訓釋譯黃帝内經素問序説 三和書籍
- 野間 文史 [譯注] 周易正義訓讀 明德出版社 二松學舎大學中國學古典叢書
 蜂屋 邦夫 老子探究：生きつづける思想 岩波書店
 林 淳 [編] 新陰陽道叢書 第五卷 特論 名著出版
- 東アジア怪異學會 [編] 怪異學講義：王權・信仰・いとなみ 勉誠出版
 朴 炳道 近世日本の災害と宗教：呪術・終末・慰靈・象徴 吉川弘文
 館
- 山里 純一 古代日本と南島の交流 吉川弘文館
 山田 直巳 [編] 歌・呪術・儀禮の東アジア 新典社
 吉川 忠夫 [編] 眞誥 上・下 臨川書店
 麥谷 邦夫
- 吉野 裕子 陰陽五行と日本の民俗（新版） 人文書院
 吉野 裕子 十二支：易・五行と日本の民俗（新版） 人文書院

II. 論文

- 荒見 泰史 敦煌の西王母信仰と唱導 『古代學研究所紀要』 31
 有馬 卓也 心を操作する呪術 『九州中國學會報』 59

- 井川 義次 『中國の哲學者孔子』序文における道教、佛教情報の試譯
『東方宗教』133
- 池内早紀子 『平常流機道問答』について(一) 『人文學論集』39
- 池平 紀子 鏡像關係の經典：『佛說罪福報應經』と『太上說轉輪五道宿命因緣經』初探 『人文學論集』39
- 石野 一晴 粵西の洗夫人信仰 『華南研究』7
- 江藤 正顯 葛飾北齋と妙見菩薩：臺灣道教における「玄天上帝」を手掛りとして 『敍說.Ⅲ：文學批評』19
- 王 博涵 元朝中期江南における玄教と在來道教：道觀修繕・再築の資金募集活動を中心として 『東方宗教』137
- 大田 黒司 天草の神祇信仰と民間宗教者：カミサマの概念を中心に 『歴史民俗資料學研究』26
- 大田 黒司 民俗信仰におけるシンクレティズムと民間宗教者に關する研究的諸問題への一考察：天草諸島の民俗信仰を中心に 『身語正研究』2
- 乙坂 智子 永樂四年十一月の醴泉湧出：瑞祥發生をめぐる稱賀文書と金錄齋 『東洋史研究』80(2)
- 夏 雨 金祖の原型について：羅教の傳説を巡って 『東方宗教』134
- 甲斐 勝二 「名人傳」小考：『列子』湯問篇孔周所藏寶劍の形象を用いて 『福岡大學 日本語日本文學』31
- 梶田 祥嗣 「無」の有用性：王安石「老子」における「穀輻」解釋の再檢討 『埼玉工業大學教養紀要』38
- 川口 喜治 張果關連文獻譯注稿(下)山口縣立大學學術情報
- 川野 明正 漢語における「妖怪」概念：日・中・臺の概念比較 『明治大學教養論集』547
- 菊地 章太 媽祖と海域の文化 染谷智幸編『はじめに交流ありき：東アジアの文學と異文化交流』文學通信
- 許 曉璐 『列仙傳』における仙人の表現の工夫について 『學林』72
- 金 泰民 瓊中縣道教の「家神公函本」の考察 『社會文化史學』65
- 黒田 秀教 諸子百家の語る孔子：『莊子』『懷德』89
- 黄 華珍 《紅樓夢》中的道家、道教文化漫議 『知性と創造：日中學者の思考』12
- 小林 郁 神宮御師に關する新出資料群の基礎的研究 『神道宗教』261
- 小町 佑希 『竹取物語』研究：中國神仙譚と比較して見る『竹取物語』の眞髓 『日本文學』117

- 小武海櫻子 近代中國民衆宗教の書籍ネットワーク考：重慶合川會善堂慈善會刊本目錄 『人文』 19
- 小武海櫻子 表象としての近代中國の民衆宗教：宣教師からみた“救世團體” 『研究年報』 67
- 齋藤 龍一 中國南北朝時代における維摩像の展開と地域性：道教像との圖像的關連に注目して 『佛教藝術』 6
- 酒井 規史 宋元時代の道教と地誌：茅山の事例を中心に 『アジア遊學』 259
- 佐藤 利行 王羲之と道教 『中國中世文學研究』 74
- 志賀 市子 粵西鑑江流域の經堂：信仰と儀禮を中心に 『茨城キリスト教大學紀要Ⅰ,人文科學』 55
- 志賀 市子 近代中國の宗教文化と地方社會 『華南研究』 7 (0)
- 志賀 市子 粵西地域の經堂 『華南研究』 7 (0)
- 鈴木 一馨 「沖繩の風水史」 試論 『文化財學雜誌』 17
- 鈴木 正崇 大乘神樂の再興と變容 『山嶽修驗』 68
- 鈴木 正崇 修驗道の明治維新：在地修驗と修驗本山の行方 『現代思想』 49 (5)
- 鈴木 裕美 洞神「三皇文」の一部缺落について 『流通經濟大學論集』 56 (2)
- 砂山 稔 現報・七寺と恩重・重胞：増尾伸一郎『道教と中國撰述佛典』 書評から『太上老君說報父母恩重經』 成立年代攷へ 『東方宗教』 135
- 砂山 稔 「上元」「蕊珠」と「金籍」「玉皇」：元稹の詩文と道教世界 『東方宗教』 137
- 善養寺淳一 『竹取物語』 に見える神仙否定の論理：『浦島子傳』 との比較構造論的考察 『大正大學大學院研究論集』 45
- 善養寺淳一 『富士山記』 の神仙世界：平安朝前期文人の漢籍受容について 『國文學試論』 30
- 臧 魯寧 『抱朴子』 の隱逸觀：「出處同歸」をめぐって 『中國思想史研究』 42
- 孫 瑾 鬼神に關わる病氣の呪術治療：江蘇省中部沿海躡門村の巫女・香童を對象として 『東方宗教』 134
- 孫 瑾 「鬼交」と房中術：『夷堅志』 における民間治療の用例から見る房中術の思想の影響 『東方宗教』 136
- 高橋 稔 上武國境地域南側の靈山と信仰：三十一番觀音院と薄の藥師堂 『群馬文化』 344

- 竹迫 忍 北極星による古代の正方位測定法の復元 『數學史研究』 239
竹宮 英朗 先秦疾病観小考：「巫」から「醫」への展開と病氣の合理的
説明 『中國哲學研究』 31
- 田中 智幸 『呂氏春秋』の統治論に見える墨家説 『鶴見大學紀要』 58
田中 文雄 佛教と道教の十王信仰と儀禮 『豊山學報』 64
田中 文雄 一行と星宿信仰 『東方宗教』 138
谷口 綾 吳瑞『日用本草』について：二つの傳本をてがかりとして 『東
方宗教』 135
- 張 凱 現地考察の結果：臺灣三箇所の媽祖廟を巡り：媽祖信仰と中
國佛教 『龍谷大學佛教學研究室年報』 25
- 張 振康 宋代の珠江デルタ地域における南海神信仰と媽祖信仰の交差
『人文研究』 72
- 張 名揚 仙人と茶：中國から日本へ 『實踐女子大學文藝資料研究所
年報』 40
- 張 名揚 「稱名寺聖教」から見る密教星供と唐宋期の喫茶文化 『金澤
文庫研究』 347
- 陳 笑薇 松尾芭蕉の「誠」について：林注『莊子』の「私意」「機心」
を軸として 『語文研究』 132
- 陳 力 雜考：式盤・式圖と初期漢長安城の「象天法地」：術數・文
化傳承からみた初期漢長安城の都城構造の由來 『阪南論集』
56 (2)
- 陳 莉莉 京都大興寺關帝像について 『東アジア文化交渉研究』 14
丁 乙 宗白華の中國藝術論における儒家と道家の應用 『美學』 72 (2)
富田 綾美 臺南溪南地域における道教式頭七について 『國學院中國學
會報』 67
- 富田 繪美 江淹「丹沙可學賦」考 『六朝學術學會報』 22
富田 繪美 『抱朴子』内篇卷一暢玄篇の「玄」について 『東洋の思想と
宗教』 38
- 内藤 英子 藏開卷における神仙譚を利用した語りの方：仲忠の造型を
中心に 『名古屋大學國語國文學』 114
- 中島 隆博 『老子』讀解の近代：日本とヨーロッパの中國學の交差 『思
想』 1161
- 永塚 憲治 『博濟病院塾則』について 『醫譚』 113
中塚 亮 岐阜に請來された媽祖について：戦後日本における媽祖信仰
受容の一例として 『東方宗教』 136

- 中村 琢 『曆林問答集』の新寫本について：古谷義昭氏所藏『曆林問答集』の紹介と検討 『東方宗教』136
- 中村 實央 媽祖信仰の内陸への傳播と變容：清代四川省中東部を事例として 『社會システム研究』24
- 南部 英彦 太初曆における三正説と五行説の兩立 『集刊東洋學』125
- 新關 公子 谷文一《二仙人（呂洞賓と鍾離權）圖》について 『聚美』38
- 二階堂善弘 マレーシアの寺廟にみる神佛融合 吉田一彦編 『神佛融合の東アジア史』名古屋大學出版會
- 二階堂善弘 アジアと日本の神佛信仰 『世界のなかの日本宗教（日本宗教史2）』
- 二階堂善弘 眞武型妙見の變容 『東アジア文化交渉研究』14
- 二階堂善弘 明清期の瘟神と醫神 『關西大學東西學術研究所紀要』54
- 二宮 恭子 劍術における神道的宗教性に關する一考察：新當流を中心に
- 酒井 利信 『身體運動文化研究』26（1）
- 大石 純子
- 堀川 峻
- 二ノ宮 聰 寶卷から見る明代後期から清代初期の碧霞元君信仰 『東方宗教』138
- 野澤 佳美 元版大藏經の刊行と東アジア 『アジア遊學』256
- 長谷川清貴 『漢書』古今人表の「表」としての効果と制作意圖：『論語』及び律曆志・藝文志との關係を中心に 『國學院雜誌』122（7）
- 濱野 清志 氣功からみた身心醫學の可能性：自發動をめぐって 『心身醫學』61（6）
- 林 佳恵 古靈寶經に見える經典觀：「元始舊經」の經典觀と「十部妙經」の經典觀の比較を中心に 『東方宗教』133
- 萬 麗莉 跡部良顯の神道教化論 『日本思想史研究會會報』37
- 東野 治之 トルファン出土の『列子』張湛注と『遺教經』有注本の斷簡：恭仁山莊善本節記（1） 『杏雨』24
- 日比野晉也 牛道淳の内丹説について 『東アジア文化交渉研究』14
- 日比野晉也 尹志平『清和真人北遊語錄』における『道德經』注釋について 『東方宗教』134
- 廣瀬 直記 道教史における金明七眞の位置づけ 『東方宗教』138
- 深見 純生 海域東南アジアにおける唐代の崑崙 『カンボジアの文化復興』32

- 藤田 明良 東アジアの媽祖信仰と日本の船玉神信仰 『國立歷史民俗博物館研究報告』 223
- 藤田 衛 『焦氏易林』 占法考：現存本の系統と特徴を踏まえて 『東洋學報』 102 (4)
- 藤田 衛 漢代易學興亡史稿 (中) 『東洋古典學研究』 51
- 藤田 衛 漢代易學興亡史稿 (下) 『東洋古典學研究』 52
- 細井 浩志 「新しい安倍晴明像」の始まり 『現代思想』 49 (5)
- 細井 浩志 『曆林問答集』の新寫本について：古谷義昭氏所藏 『曆林問答集』の紹介と検討 『東方宗教』 136
- 中村 琢
- 堀 誠 「狐變妲己」隨記 『學術研究』 69
- 堀 誠 『平妖傳』四十回本における妖狐の形象：「妖術」と聞香教 『學術研究』 70
- 牧角 悦子 災異と記録 『二松學舍大學人文論叢』 107
- 牧角 悦子 災異を記録すること：『搜神記』を中心に 『中國—社會と文化』 36
- 町 泉壽郎 醫學館要祕録 (下) 『日本醫史學雜誌』 67 (1)
- 町 泉壽郎 醫學館方案 『日本醫史學雜誌』 67 (3)
- 町 泉壽郎 病氣治療と呪術 『二松學舍大學人文論叢』 107
- 松尾 恆一 死靈と疫病の長い關係：民俗信仰と疫病の深いつながり 『Rekihaku』 4
- 松尾 恆一 船と女神：ヨーロッパ大航海時代の媽祖・觀音・マリア 『藝能』 27
- 松下 道信 道教における酩酊と覺醒：南宋の道士白玉蟾 (はくぎょくせん)の酒と茶の詩詞を中心に 『綠茶通信』 48
- 松下 道信 モンゴル朝における道佛論争について：『至元辯偽錄』に見える禪宗の全眞教理解 『アジア遊學』 256
- 眞柳 誠 韓國國立中央圖書館の古醫籍書誌 (一一) 『人文コミュニケーション學論集』 7
- 三浦 國雄 ある三教融合の様相：『北斗本命延生經』玄元真人註試論 『中國思想史研究』 42
- 三浦 國雄 中國文人の養生法と養生書 (杏雨書屋 第四十三回 研究會講演錄 東アジアの養生書) 『杏雨』 24
- 三浦 秀一 佛老を雜へて佛老を超ゆ：明代思想史の一斷面 (下) 『東洋古典學研究』 51
- 三浦 秀一 明代老學史の一側面：薛蕙『老子集解』を論じて王道『老子億』に及ぶ 『集刊東洋學』 124

- 水口 幹記 京都大學人文科學研究所藏『天地瑞祥志』第十二翻刻・校注(2)
「正月朔旦候風」「五音風」 『藤女子大學國文學雜誌』104
- 水口 幹記 東アジア世界の中の陰陽道：〈術數文化〉の視點から 『現代思想』49(5)
- 溝部 良恵 張薦『靈怪集』について 『慶應義塾大學日吉紀要・中國研究』14
- 三宅 義和 『三教指歸』に見られる空海のアイデンティティ形成過程：
虚亡隱士のモデルは役行者という解釋も含めて 『神戸國際大學紀要』102
- 宮本 紗代 『神仙傳』の中の超自然現象について：神仙・神人・真人・
仙人の對比 『學林』73
- 六車 楓 清華簡『行稱』『病方』から見る術數と方技の關係 『中國研究集刊』67
- 村上 晶 民間信仰の「論理」を考える：津輕の巫俗と災因論を事例として 『駒澤大學佛教學部論集』52
- 森 由利亞 関一得『金蓋心燈』に見る「龍門正宗」の物語(narrative)
作りの一側面：朱文藻・張復純『金鼓洞志』との對比から
見る黃赤陽の役割り 『多元文化』10
- 森 由利亞 朱元育『參同契闡幽』の内丹法について 『東方宗教』137
- 山口 俊雄 石川淳『靈藥十二神丹』論：典據『武邊雜談』と練丹術と『國語と國文學』98(4)
- 山下 一夫 臺灣皮影戲『割股』考 『中國都市藝能研究』19
- 山下 克明 古代・中世の陰陽師 『現代思想』49(5)
- 山田 明廣 臺灣北部淡水地區の烏頭道士の功德儀禮 『關西大學東西學術研究所紀要』54
- 山田 雄司 日本中世における疫病への宗教的對應：四角四界祭を中心に 『歷史學研究』1011
- 横手 裕 蘇軾の内丹說：その特徴と意義 伊東貴之編 『東アジアの王權と秩序：思想・宗教・儀禮を中心として』 汲古書院
- 吉岡 剛志 揚雄『太玄』八十一首における連続性への記號表記を用いた
アプローチ：『周易』六十四卦と比較した『太玄』八十一
首の構造 『帝京平成大學紀要』32
- 中村 昌彦
- 吉澤 明希 伍守陽の著作活動と内丹法：『道德眞源』所收『門人問答』
と道藏輯要本『仙佛合宗語錄』の比較を中心に 『東方宗教』135

- 吉田 薫 梁啓超（飲冰）と莊子が辿った「人間世」素描：變法、新民、
開明専制を経て 『日本女子大學紀要』 71
- 吉田 隆英 分類と範疇：九品往生説の源流 『東方宗教』 134
- 吉田 隆英 崔府君再考 『集刊東洋學』 124
- 吉野 晃 既存儀禮の隙間を埋める：タイ北部のミエン（ヤオ）におけ
る新しい宗教現象の展開と傳承的基盤 『東方宗教』 133
- 吉野 晃 飄遙過海神話を伝えるメディア 『瑤族文化研究所 通訊』 8
- 吉野 晃 ミエン歌謠における歌謠語彙：歌謠語彙と推定される語
彙の抽出 『瑤族文化研究所 通訊』 8
- 吉野 晃 卽興歌と定詞歌の間に 『日本文化人類學會研究大會發表要
旨集』 2021
- 吉村 誠 玄奘三藏と『西遊記』：孫悟空・猪八戒・沙悟淨のルーツを
めぐって 『印度學佛教學研究』 69 (2)
- 李 靈均 釋王安石注『老子』一則 『人文×社會』 1 (2)
- 劉 青 朱權の養生思想の形成と展開：『活人心』『神隱』を中心に 『東
方宗教』 135
- 劉 洋 徐命膺『參同攷』の内丹思想についての一考察 『東アジア
文化交渉研究』 14
- 梁 鎮輝 幸田露伴の「道教」と近代中國：『道藏』出版、「仙書參同契」
をめぐって 『社會文化史學』 64
- 和田 充弘 一八世紀前半期の教訓談義本にみる生活防衛の思想：田中友
水子の『世間錢神論』とその周邊 『同志社大學日本語・
日本文化研究』 18
- 渡邊 將智 後漢桓帝の親政と老子祭祀 『史滴』 43
- 渡邊 義浩 『漢書』五行志と王充の災異思想批判 『中國—社會と文化』
36

Ⅲ. 書評等

- 赤澤 春彦 討議 陰陽道研究の現在とこれから 『現代思想』 49 (5)
- 梅田 千尋
- 齋藤 英喜
- 細井 浩志
- 朝山 明彦 書評・新刊紹介 太田出著『關羽と靈異傳説說：清朝期のユー
ラシア世界と帝國版圖』 『東方宗教』 137

- 吾妻 重二 書評・新刊紹介 松下道信著『宋金元道教内丹思想研究』『東方宗教』137
- 池内早紀子 書評・新刊紹介 吉元昭治著『圖説 道教醫學：東洋思想の淵源を學ぶ』『東方宗教』136
- 池平 紀子 書評・新刊紹介 遊佐昇著『唐代社會と道教』『東方宗教』135
- 池平 紀子 連載 醫療職のための宗教講座・第3回 民衆の宗教「道教」『作業療法ジャーナル』55 (10)
- 伊藤 聰 書評と紹介 吉田唯著『神佛習合の手法：中世神話から近世神話へ』『日本歴史』879
- 神塚 淑子 シンポジウム 儒・道二教と佛教：三教交渉を再考する 『東方學會報』121
- 小林 郁 伊勢參宮の先導者たち：隆盛・廢止・その後：御師制度廢止一五〇年展 展覽會カタログ2021年10月4日-11月30日：皇學館大學佐川記念神道博物館
- 小武海櫻子 書評 太田出著 關羽と靈異傳説：清朝期のユーラシア世界と帝國版圖 『東洋史研究』80 (3)
- 酒井 規史 道教關連のオンライン研究活動について (二〇二〇年～二〇二一年九月) 『東方宗教』137
- 酒井 規史 廣瀬 直記 「二〇一八年 道教週」參加報告記 『東方宗教』133
- 清水 邦彦 書評と紹介 朴炳道著『近世日本の災害と宗教：呪術・終末・慰靈・象徴』『宗教研究』95 (3)
- 瀧本 弘之 中國古版畫散策 (第72回) 小杉未醒の『新譯繪本水滸傳』：洋風の仙人「黃初平」 『東方』479
- 竹村 則行 唐・玄宗「紀泰山銘」の原拓資料と銘文の概要 『貴重文物講習會』43
- 土屋 昌明 漢の死者はハッピーだった [姜生著/三浦國雄・田訪監譯 漢帝國の遺産：道教の勃興] 『東方』478
- 土屋 昌明 研究會議「洞天福地與東亞文化意象」報告 『東方宗教』136
- 董 航 日中兩國の中國善書に關する研究總説：成果と展望を中心に 『比較文化研究』143
- 富田 繪美 書評・新刊紹介 林佳惠著『六朝江南道教の研究：陸修靜の靈寶經觀と古靈寶經』『東方宗教』136

- 中島 隆博
伊藤 聰
佐川 英治
牧角 悦子
渡邊 義浩
中前 正志
- 座談會 天災と人禍：思想と宗教、そして文學と歴史から考
える 『中國—社會と文化』 36
- 濃尾地震と西國札所總出開帳と生人形：資料紹介 『西國三十
三番及御詠歌觀音靈驗記』 『女子大國文』 169
- 二ノ宮 聰
- 書評・新刊紹介 姜生著、三浦國雄・田訪監譯 『漢帝國の遺
産：道教の勃興』 『東方宗教』 137
- 二ノ宮 聰
- 滿州の廟會：滿鐵沿線の娘娘廟會（研究ノート） 『關西大學
中國文學會紀要』 42
- 二ノ宮 聰
- 二〇一八國際東亞人文論壇：東方文化與生命哲學國際學術檢
討會 『東方宗教』 133
- 野口 眞戒
- 書評 森和也著 『神道・儒教・佛教：江戸思想史のなかの三
教』 『懷徳』 89
- 町 泉壽郎
- 中國醫學における流行性感染症に関する史料の紹介 『日本
醫史學雜誌』 67 (3)
- 松本 浩一
- 書評・新刊紹介 劉枝萬著 『臺灣の法教：閩山教科儀本と符
式簿の解讀』 『東方宗教』 137
- 眞柳 誠
- 『黃帝內經』 解題 『日本醫史學雜誌』 67 (4)
- 水口 拓壽
- シンポジウム 術數學研究の課題と方法 『東方學會報』 120
- 山田 俊
- 書評・新刊紹介 横手裕著 『道教の歴史』 『東方宗教』 134
- 山田 俊
- 書評・新刊紹介 麥谷邦夫著 『六朝隋唐道教思想研究』
『東方宗教』 138
- 山本 正身
- 書評 西平直著 『養生の思想』 『教育哲學研究』 124
- 横手 裕
- 書評・新刊紹介 神塚淑子著 『道教經典の形成と佛教』
『東方宗教』 137